

第1回 CIM導入推進委員会＜議事概要＞

【日時】 平成28年6月21日（火） 13：00～15：00

【場所】 中央合同庁舎第4号館 1階 108会議室

【議論のポイント】

○委員会全体に関わる意見

CIMの導入によるフロントローディングの効果として、設計の品質の向上、施工の様々なリスク軽減とともに、特に維持管理にかかる費用削減のインパクトが大きいため、これらに着目した検討をより早く進めて頂きたい。

○データの保管、管理、共有について

- ・現場で発生する様々なデータを維持管理で活用するために、データの保管ルール、保管する体制を検討する必要がある。
- ・CIMは従来の納品だけではなく、途中段階でそのデータを共有することが重要であり、ASP、クラウド等を用いた共有方法の検討について、セキュリティも考慮し進める必要がある。
- ・事業者が主体的に、事業全体にわたってデータをマネジメントすることが重要であり、事業者がCIMを主体的に運用する仕組みを検討して頂ければと考える。

○維持管理におけるCIMの検討について

- ・河川等の既存構造物の管理へのCIMの活用として、占用許可も含めたアセットマネジメント、維持管理から始める議論を、是非進めてもらいたい。
- ・特殊条件で設計している構造物の設計根拠、当時の考え方が、維持管理段階で特に必要となるので、そのようなデータをCIMにどのように取り込んでいくのかも、今後検討いただきたい。

○国際標準化の対応の進め方について

- ・国際会議等の場で、日本としての意見をしっかりと提案できる体制の構築、または現体制の拡充を検討する必要がある。
- ・また、buildingSMART Internationalの対応とともに、国内審議団体の対応等も視野に入れて検討を進めていく必要がある。

○各団体におけるCIMの取組の共有等について

各団体のCIMの講習会、イベント、また国際的取組等を委員会メンバー間で共有すること、また様々な取組を支援していくことも必要であり、今後、議論頂きたい。